

1. 研究課題名

Endobronchial Watanabe spigot の有効性と安全性の検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

【背景】 Endobronchial Watanabe spigot (EWS) は気道を閉塞し、機械的にエアリークや出血を防ぎます。外科的介入の困難な術後肺瘻や難治性気胸、血管内治療で停止しないあるいは施行困難な喀血に対する有用性が報告されています。しかし、具体的な手技や留置後の臨床経過、追加治療や合併症の管理について記述した詳細な文献は限られています。

【目的】

本研究では当院で EWS を行った患者さんを対象として、どれくらい状態を改善させたか（有用性）と安全性について検討することを目的としています。

研究期間は承認日から 2026 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2017 年 12 月から 2024 年 1 月までの間に日本赤十字社医療センターで EWS を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、EWS 施行時の患者情報（年齢、性別、既往歴）、EWS 施行時の情報（対象疾患、内視鏡の種類、同一入院期間中の EWS の施行回数、使用 EWS 数・サイズ、半分に切断し使用した EWS の数、対象気管支の同定方法、肺瘻、気胸、喀血に対する追加治療、治療成績、合併症）などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

この方法は観察研究という方法で、新たに患者さんへ負担はかかりません。匿名化（個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うこと）を行うことで、誰のデータか分からないようにし、統計解析を行います。その結果は、疫学や呼吸器学に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 呼吸器内科 鎌谷 美和、栗野 暢康

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、

以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：呼吸器内科 鎌谷 美和、栗野 暢康